

令和6年度 地域とつくる支援の輪プロジェクト全体会

1 日時

令和7年1月18日（土） 14時～16時

2 出席者

合計 48名

3 実施内容

（1）こども1,000人アンケート実施結果の報告

（2）意見交換

「こども1,000人アンケート実施結果をうけて、気づいたこと・
気になったこと・感じたこと・興味深いと思ったこと・課題だと思ったこと」

（3）発表・まとめ



4 意見交換の内容（一部抜粋）

■ 1グループ

「気づいたこと・気になったこと・感じたこと」

- ・家庭環境がとても大切！
- ・7歳の子が居場所だと感じるお店とはなにか？

「おもしろい！興味深いと感じたこと」

- ・好きな授業だけ受けたいと思っていること。
- ・ひとりでいたいと感じるこどもが意外と多くいること。
- ・SNSを居心地が良い場所と思っている子が多くいること。
- ・年齢とともに視点が変わる。小学生でも高学年になると社会が見えてくる。
- ・ごみが多いとこどもも感じている。なにかできることはないのか？

「課題だと思ったこと」

- ・教員もこどもも学校と地域とのつながりが必要。
- ・引越などで転校してきた子がはやくなじめるようなサポートが必要。
- ・SNSでのやり取りは親や周りの大人が見ることができない。トラブルが起こっても対応が難しい。

■ 2グループ

「気づいたこと・気になったこと・感じたこと」

- ・小学校低学年は活動的な場所が好き。
- ・低学年は家族や親に対しての意見、高学年は学校に対しての意見、中学生は学校や社会に対しての意見、中学生以上は社会に対しての意見。
⇒成長するにつれて、視野が広がっている。
- ・やさしくしてほしい、否定しないでほしい、注意するときは怒らず説明してほしい、人として尊重してほしいという意見。
- ・年齢があがっていくにつれて、気持ちによりそってほしいと感じるようになる。
- ・SNSが居場所として機能していること。

「おもしろい！興味深いと感じたこと」

- ・居心地の良い場所が「好きなひとのそば」はとても可愛くて素晴らしい！癒される！
- ・「家族という時」というワードがなかった。これは回答してくれた子たちにとっては、家族が当たり前の存在と認識しているからなのか。

「課題だと思ったこと」

- ・ポイ捨てへの対策はすぐ取り組める課題だと思った。
- ・「もっと人の意見を聞いてほしい」についてどんなふうに聞いてほしいかを聞いてみると自分たちももっと活動しやすくなるとおもった。
- ・校則に対して窮屈に感じる人が少なくないが、すぐに変えることはむずかしい。



■ 3グループ

「気づいたこと・気になったこと・感じたこと」

- ・中学生は寄り添ってほしい意見と自由にさせてほしい意見がある。こどもの意見をきちんと聞く姿勢が大切と思った。
- ・学校が居心地が良いということも達も居てほしかった。
- ・ピアスや髪をそめることの校則への反発、当然昔からよくあることだが、最近のルッキズムへの傾倒をみていると怖く感じ、難しい問題だと思った。

「おもしろい！興味深いと感じたこと」

- ・小学校高学年ともなると自分の気持ち、考えの言語化がすごく上手だと感じた。近年は「大人びている」子が多いと感じている。
- ・このアンケートが国が違ったら内容も違うのか、外国の子にも聞きたくなった。
- ・料理のイベントはとてもいいと思う。こどもと一緒にやれるといい！
- ・「オンラインの居場所を」と言われ、数年たち、立派な居場所のジャンルとなった一方、やはりリアルな居場所、つながりを求める声は多いのではないかと感じた。特にコロナ以降、この傾向がますます強くなったと感じる。

「課題だと思ったこと」

- ・こどもへの禁止（髪の色、靴下の色等）はそろそろ見直す必要があるのではないか。
- ・中学生だけで入れる遊ぶ場所がないこと。
- ・大人とこども、若者と高齢者のような二分化の構造をとったお話しが最近多いとこのアンケートも含めて感じた。どちらがどうというわけではなく、個々の事情にそくした取組をできたらいいなと思った。

■ 4グループ

「気づいたこと・気になったこと・感じたこと」

- ・こどものお手本→耳が痛い、自分の態度に反省した。
- ・自分をつくらわないで過ごせる場所とはどういったところなのか気になった。
- ・認めてもらえること、役割をもつこと、自分らしくあることが居場所として必要な要素。
- ・年齢があがるにつれて、モノから人へ興味がうつっていくこと。

「おもしろい！興味深いと感じたこと」

- ・自分らしくいられないと居場所ではなくなる。
- ・思春期以降、自分がどうあるかということがテーマになってくる。
- ・小学生のこどもが大人に反論してもいい空間がほしいという意見に同感。
- ・若者「も」大切にしてほしいという意見。
- ・社会の風潮や雰囲気敏感だと感じた。

「課題だと思ったこと」

- ・いつでもアクセスできる場所、自由な場所が必要。
- ・気にかけてくれる人をどれだけ増やすことが出来るか。
- ・ピアスと髪を染めることがNGであることに対して、説明できる準備がないと思った。

■ 5グループ

「気づいたこと・気になったこと・感じたこと」

- ・こどもたちも色々なことを考えて、伝えたいと思っている。まずはそれを伝えられる、受け止めてもらえる場所、人の存在が必要だと思った。
- ・大きくわけると、一人や少人数を好む子と仲間と一緒に良い子に分かれる。一律ではなく、それぞれにあった多様な環境や対応が必要だと思った。

「おもしろい！興味深いと感じたこと」

- ・「安楽死の認可」について回答していることについて何か身近で考えさせられることがあったのか気になる。
- ・SNSを居場所だと感じていること。
- ・居心地がよい場所のなかで図書館がわりと上位にはいつていること。

「課題だと思ったこと」

- ・いつでもアクセスできる場所、自由な場所が必要。
- ・気にかけてくれる人をどれだけ増やすことが出来るか。
- ・ピアスと髪を染めることがNGであることに対して、説明できる準備がないと思った。

■ 6グループ

「気づいたこと・気になったこと・感じたこと」

- ・友達との関わりが思ったより少ない。
- ・「怒らないでほしい」
→自分もこどもの頃思っていたのに大人になるとなぜ怒ってしまうのだろう？
- ・ものではなく大人への接し方への要望が多い。

「おもしろい！興味深いと感じたこと」

- ・こども食堂という言葉が小学生にも広まっていて興味のあるこどもが増えてきて喜ばしい。
- ・児童館や学童を居場所と思ってくれていることはうれしい。
- ・集団のなかでの「自分」と本当の自分を使いわけているこどもが増えた。
- ・未来に向けて希望を抱いている意見が少なくないこと。

「課題だと思ったこと」

- ・「自分」でいられる場所の提供。
- ・勉強する意味について、きちんと納得できる説明が出来ていない。
- ・どの世代も「意見を尊重してほしい」が多い。大人がより意見を聞ける環境の整備が必要。
- ・早い年代からの学習支援が必要。

■ 7グループ

「気づいたこと・気になったこと・感じたこと」

- ・大人は子供達に期待されている。理想像がある。
- ・家庭のなかでも1人の空間がほしいこどもがいること。
- ・家庭に居心地のよさを感じているこどもが多い。
- ・年齢があがるにつれて周りを気にしている。
- ・自分だけの時間や空間は低学年でも必要なこと。

「おもしろい！興味深いと感じたこと」

- ・SNSも居場所のひとつとして考えられていること。
- ・SNSを居場所としてとらえているのが多いこと。
- ・自分が自分でいられる場所、安心できるという要素があることが居場所には必要。

「課題だと思ったこと」

- ・学校は守られた、安心できる環境にならないといけない。
- ・大人はこどもを尊重するべき。
- ・本当にやってはいけないこと以外は見守ることが必要。
- ・大人の社会、常識について、大人も十分な説明ができないこと。
- ・ミスしたら責めてくる風潮は改善すべき。

■ 8グループ

「気づいたこと・気になったこと・感じたこと」

- ・こども食堂はこどもの居場所でもあるが、大人や親の居場所でもあること。
- ・ひとりで過ごすことの安心感は理解できる。一方で他者との関係づくりについては心配。
- ・言うことを否定せずに聞き入れてくれる人がこどもにとっては大切であること。

「おもしろい！興味深いと感じたこと」

- ・直接的な関係と間接的な関係の使い分けをおこなっていること。
- ・SNSが居場所になっていること。大人もSNSを居場所だと思っているひとは多いのでとても納得した。

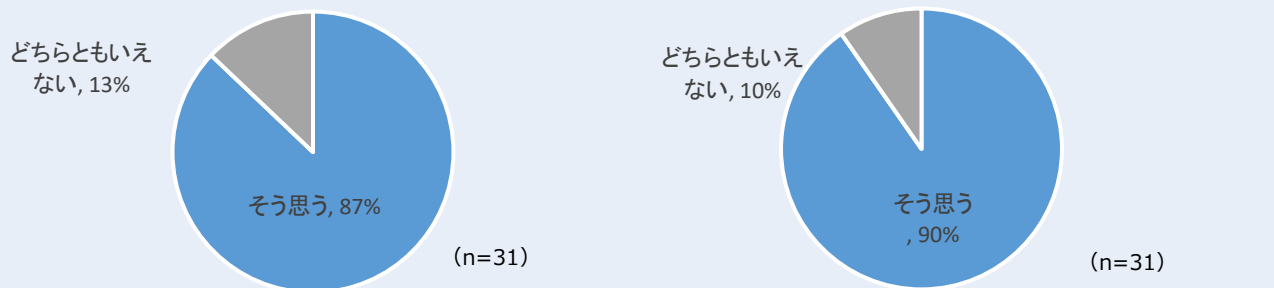
「課題だと思ったこと」

- ・大人のマナーを守らない話は何年もずっとでているため、改善が必要。
- ・校則に対して、もっと自由に選ばせてもいいと思う。もちろん制服は選択肢の一つとして残したうえで特に靴下や靴の色指定はいらないと思う。
- ・居心地の良さ、愛着、好きを発見する機会を提供したい。
- ・勉強は何のためにしなければならないのか、根本的な教育の必要性を学ばせるための教育が必要である。
- ・学校の授業が勉強する場所ではなく、中学生は塾が勉強する場所になっている。ますます学力と貧富の差が広がるのではないかと懸念。

5 参加者の感想・意見等（一部抜粋）

- ・こどもの声を知ることができてよかった。また、様々な大人と意見を交流できたこともよかった。改めて色々なことを考えることができてよかった。明日から自分の行動も変えていきたい。
- ・様々な視点での意見を聞いたことが大変参考になり、明日以降の自らの活動に活かしていこうというモチベーションをいただけた。こども・若者の声をしっかり聞ける大人であるよう心掛けたいと背筋の伸びる思いです。
- ・色々な団体の方が大田区のこどもたちに関わっていることを知ることが出来た。
- ・こどもについて考える人がいることがこんなにも多くいることがうれしく思った。地域のつながりが少なくなっているなかで、こどもたちのことを考えている人がいるということをごどもたちに知ってもらいたいし、それを伝えていくことができる大人にならなければいけないと感じた。
- ・他の機関の方々の視点からいろいろな意見を聞くことができ、気づきを得ることが出来た。
- ・若者としてもっと多くのこども・若者にこの話し合いに参加してほしいと思った。

＜ネットワークを広げるきっかけとなった＞ ＜今後の自身の生活、活動、業務等の参考になった＞



＼大人からアンケートに答えてくれたこども・若者へのメッセージ／ (一部抜粋)

☆みなさんの未来が素敵な未来になれるよう大人たちも頑張ります。

自分の可能性を信じ、自信をもってください。時々立ち止まってみることも大切です。

☆ 思いや考えを教えてくれてありがとう。これからも伝え続けてください。

一緒に考えたいです。

☆ 何か困ったときは、ひとりで抱えないで！楽しいこと、美しいもの、

そして頼れる人をみつけてください。

☆ 大人ももっとこどもたちの見本になれるように頑張ります。

大人も毎日悩んでいます。でもそれが楽しいと思えるようになります！

周りの大人にたくさん頼って人生楽しもうね。

☆ 悔いなく、今を楽しく生きよう！

